

2016 年度
第 45 回日本選手権関西連盟中国大会
大 会 要 約

主 催 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部

期 日 平成 28 年 5 月 14 日 (土) ~ 平成 28 年 6 月 5 日 (日)

場 所 しまなみ球場、三原市民球場、福山市民球場、千代田運動公園野球場、周南市野球場、山口きららドーム球場

開 会 式 5 月 14 日 (土) しまなみ球場 8:30~ (開門 7:00~ 受付 7:30~)

閉 会 式 6 月 5 日 (日) 山口きららドーム

参加チーム 関西連盟中国支部加盟 : 18 チーム

試合球 各チーム用意 (ミズノ) 試合ごとに 4 球

競 技 要 項

この大会は、日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟大会規定及び中国支部が定める特別規則に基づき実施し、**試合開始後 2 時間を経過し新しいイニングには入らない**。

- 1 試合は 7 回戦とし、決勝戦を除き、5 回以降 7 点差をもってコールドゲームを採用する。
また、延長戦は行わず、最大 3 回 (8 回~10 回) までタイブレイク (1 アウト満塁) を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー (18 名) による抽選にて勝負を決する。
- 2 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の審判員により説明を行う。
- 3 各チームは前試合 4 回終了後、事務局長・監督・選手代表者の 3 名により、**選手登録書、選手カード、所定のメンバー表 (4 部)、試合球 4 球、投球確認シートを本部** に提出し、審判員並びに本部役員立ち会いの下、攻守を決定する。
- 4 試合前のシートノックは 7 分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。(各補助員は登録選手に限る)
- 5 次試合チームの先発バッテリー 1 組に限り、前試合 4 回終了時からブルペンに入り、投球練習を行うことが出来る。(但し攻守決定後に限る) ブルペン捕手は必ず防具を装着のこと。
- 6 ベンチは若番が一塁側とし、ロージン・ボールボーイ・お茶当番は一塁側ベンチとする。
- 7 審判員は第 1 試合の試合開始 1 時間前に待機し、第 2 試合以降は前試合 4 回終了時には審判控室にて待機する。**(審判服は必ず支部指定ものを着用し各チーム 2 名) ※講習済カードを持参。**
- 8 アナウンスは、第 1 試合の試合開始 1 時間前に待機し、ストラップ付き名札を着用する。

その他の注意事項

- 1 外野フィールド内でのトスバッティングやノック及びスパイクシューズを履いてのキャッチボールを禁止する。(アップシューズ着用でのキャッチボールは可)
 - 2 審判へのお茶出しのアナウンスは行わないこととする。
 - 3 各会場の球場担当は、一塁側が得点ボード及び BSO 操作、お茶出し。
三塁側が試合速報入力、本部当番を担当する。
 - 4 天候により、試合開始時間の変更もあり得る。
 - 5 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
 - 6 当日、**事務局長が欠席の際は「事務局長代行届」を各会場の本部に提出すること。**
- ※ 選手は常にスポーツマンらしいきびきびした動作でプレーし、相手を中傷するような野次を発したり、審判員や相手指導者に対する個人攻撃は、選手はもとより指導者・応援者もこれを禁ずる。